

地域包括ケア、ビッグデータ、リアルワールドエビデンス、AI、IoT、
ウェアラブルデバイス — OPD の概念を発表した 2011年から 6 年が経過し、
ようやく OPD を実践できる環境が整いました。

ブラックボックスだったMRの ディテールリングを可視化[※]して

わかった優秀なMRと凡庸なMRの違いを、
本書の中で明らかにしています。
優秀なMRは、OPDを実践していました。

※リープ・インサイト研究所の調査に基づくデータ

担当医薬品の **1つの“強み”だけで
処方してくれる医師は
ほとんどいません。**

OPDを実践する中で、
2つ目、3つ目の強みを掘り起こすことにより、
医師は自信を持って処方する気になります。

各項目に“ワーク”があり、

1年目のMRでもOPDを 実践できるように編集[※]しています。

1年目のMRからMSL級までのレベル別にOPD実践にあたって
準備すべき内容を網羅しました。

目次は裏面へ▶▶▶



One Patient Detailing 実践ガイドブック

監修 川越 満
著者 高橋 洋明
本体価格 1,944円 (税込・送料サービス)

2017年2/4より
**オフィシャルサイトで
予約受付開始**

コンサナリスト® オフィシャルサイトからご購入いただけます。
書店及び、他サイトではご購入いただけません。

コンサナリスト® 川越 満 オフィシャルサイト

<https://consunalist.jp/>



序 章 地域包括ケア時代における OPD と 3 つのアウトカム

- 地域包括ケアは OPD への追い風になる
- 使う理由が 1 つでは処方してもらえない

第 1 章 ディテールリングを可視化してわかった、“優秀な MR のディテールリング” とは？

- ディテールリングを評価するには、どうしたらいいのか？
- 優秀な MR は、ディテールリングが“一貫”している。凡庸な MR は、ディテールリングが“拡散”している
- 優秀な MR は、医師の“課題形成”をしている。凡庸な MR は、医師の“状況把握”で終わっている
- 優秀な MR は、“ポジショニング”を意識している。凡庸な MR は、“処方依頼”を意識している
- 優秀な MR のディテールリングは、医師の満足度が高い。凡庸な MR のディテールリングは、医師の満足度が低い

第 2 章 One Patient Detailing (OPD) の実践がもたらすものは何か？

- OPD は、MR として成長できるディテールリング
- 疾患や患者さん／Dr の理解が深まる（学習と成長の視点）
 - ・患者さん／医師のニーズがわかる
 - ・自社医薬品が患者さんや医師に提供する“価値”が明確になる
 - ・継続性のあるディテールリングができるようになる
- 自社製品の価値を最大化できる（業務プロセスの視点）
 - ・ディテールリングでの価値の最大化
 - ・企画立案による価値の最大化
- 患者さん／医師の満足度が高まる（顧客の視点）
 - ・提供される情報の質が高まる
 - ・医師の中でポジショニングマップが明確になる、その製品を使うべき患者が明確になる
 - ・アウトカムの質が高まる
 - ・担当する医療機関を最適かつ適正に使用してもらえ、処方の脱落が防げる、最適症例への第一選択薬として処方され実績が伸びる
- MR として生き残っていける可能性が高まる（財務の視点）
 - ・医師からの評価が高まれば実績も伸び、会社からの評価も高まり、昇進昇給も狙える

第 3 章 OPD 実践にあたって準備すべきこと

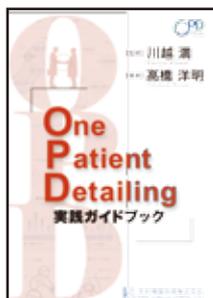
- レベル 1 新卒級
- レベル 2 開業医担当級
- レベル 3 中小病院担当級
- レベル 4 地域医療支援病院・特定機能病院担当級
- レベル 5 大学病院担当級
- レベル 6 製薬企業の学術・MSL 級

One Patient Detailing

実践ガイドブック

目次

地域包括ケアとは、○○であるも絶賛販売中！



One Patient Detailing
実践ガイドブック

2/4 から予約受付開始
2/14 以降にお届け



地域包括ケアとは、
○○である
販売中

書籍の内容と連動した講演依頼も承っております。

右記 URL からお手続き・ご購入いただけます。

<https://consunalist.jp/>

